

料金別納郵便



安藤友紀

安洞雅彦 豆向付1000客 展

—愛情出品 安藤友紀—

令和3年6月26日(土)~7月2日(金) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日7月2日は午後5時まで)

安洞雅彦 会期中、全日在廊予定

昭和48年 名古屋の古美術商の家に生まれる
平成14年 独学でやきものを始める
平成16年 瀬戸市陣屋に工房を移す
平成19年 多治見市甘原町に工房を移す
平成21年 薪窯をつくる
令和元年 上海で個展

安藤友紀 26日(土)、27日(日) 在廊予定

愛知県名古屋生まれ
平成9年 愛知県立瀬戸窯業高校 陶芸専攻科卒
平成14年 名古屋市に築窯
平成19年 岐阜県多治見市に移転、安南焼に出会う
安洞雅彦と結婚

野生の織部。それが安洞雅彦の作に接した時の、初めから変わらぬ一貫した印象だ。膨大な豆向付を見ればわかるとおり、その作は飄逸で朗らかにして、過剰を恐れず、飼い馴らされもせず、小さなエゴや現代に居着かない。古美術商だったという祖父を通して触れてきた、古典への畏敬は当然あるにせよ、そうやってよければ陶工同士の友情と共感。そして強烈なライバル心のようなものを感じずにはいられない。打ち捨てられた窯址を歩き、陶片を拾い、山から粘土を掘り出してくる。やきものは独学で、とプロフィールに書かれることが多いが、彼の師は桃山を生きた名もない人々であり、灼熱の時代そのものなのだ。

橋本麻里(永青文庫 副館長)

柿付ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と作家在廊日等の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

